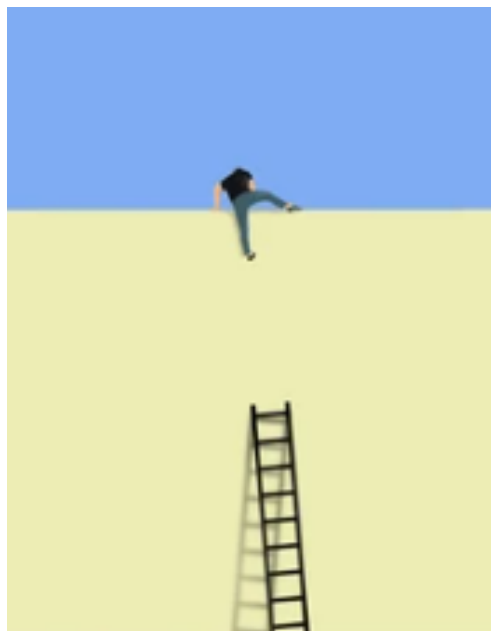


令和7年度

進路のしおり

第3学年 第2回進路説明会

10月18日(土)



文京区立音羽中学校

進路決定を前に

1 今こそ学力を高める時期です

今までの学習で身につけた基礎をもとに、応用力を高め、学力向上に努めましょう。

- (1) 授業を大切にして、理解を深めましょう。
- (2) 宿題(提出物)、小テストなどに真剣に取り組みましょう。
- (3) 計画的な家庭学習と、理解の不十分な範囲の見直しを徹底しましょう。
- (4) 定期考査Ⅲの取組を、悔いが残らないようにしましょう。
- (5) 自分の志望する学校の過去の入試問題を解き、出題傾向をつかみましょう。

2 自分の志望校の選抜方法と合格者の決定方法をよく理解しましょう。

3 客観的な学力の把握をしましょう。これから進路決定へ向けての教育相談が始まります。家庭でよく話し合い自分の志望校を確認し、目標に向かって落ち着いて学習に打ち込みましょう。

☆ 志望校選定のポイント

(1) 学校の種類を決めます

- ・普通科か 専門学科か
- ・公立か 私立か
- ・男女共学か 別学か

(2) 自分の適性に合った学校を選びます

- ・学力に合っていますか
- ・通学環境、地域環境は適していますか
- ・校風は自分に合っていますか

4 規則正しく生活し、落ち着いた毎日を過ごすことを心がけましょう。友人関係、学級活動などを大切にしていきましょう。

5 面接試験なども意識して、身だしなみ・あいさつ・話し方(言葉遣い)等、中学3年生としてふさわしい考え方や態度を身に付けるようにしていきましょう。

高等学校入試要綱

都立高等学校

1 推薦に基づく選抜

● 一般推薦

1 応募資格

- 志願する都立高校を第1志望とする者。(合格したら必ず入学する。)
- 令和8年3月に都内の中学校を卒業する見込みの者。
- 保護者と一緒に都内に在住し、入学後も都内から通学することが確実な者。
(志願者と保護者がやむを得ず別居中である場合も具申書を提出し応募することができる。)
- 一般推薦を志願する意思があり、校内審査を通して、中学校長の推薦を受けた者。
(推薦入試で不合格となっても、再度第一次検査を受検できる。)

2 募集人員

「令和8年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」に定める。(募集要項で確認)

3 推薦基準

各高等学校の「本校の期待する生徒の姿」(教室備え付け)及び、「東京都立高等学校等募集案内」(11月上旬配布予定)を参照のこと。

4 出願方法等

(1) 出願方法

- 都立高校のインターネット上の出願サイト(各個人で対応)へ出願者情報を入力する。
- 都立高校の1校1コース又は1科(1分野)に限りに出願する。志願変更はできない。
- 志願する同一の学科内に2科(2分野)、又は同一の高校内に2科(2分野)以上あるときは、第2志望として他の1科(1分野)を指定できる。ただし、同一の高校内に普通科とコース、又は農業科と家庭科等複数の学科があるときは、それぞれを別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定できない。

○入力期間 令和7年12月19日(金)から令和8年1月16日(金)まで

※中学校で事務処理がある関係で、校内締め切りは令和8年1月8日(木)までとします。

(2) 願書作成の流れ

- ① 出願サイトでID取得
- ② 顔写真登録
- ③ 必要事項(住所氏名など)を入力
- ④ 中学校に報告
- ⑤ 中学校が承認(承認後、入学考査料を納入する)
- ⑥ 各自で受検票を印刷

○入学考査料

ア 全日制は 2,200 円。

イ 産業技術高等専門学校は、12,600 円。

ウ 定時制課程 950 円。

※インターネット上で電子決済するか、所定の納付書により、東京都内の金融機関の窓口で納入し、領収証書を指定の方法で添付する。

(3) 必要書類 中学校から各都立高校へ書類を郵送。(各個人で郵送するものではありません。)

①推薦願(音羽中所定のもの) ②自己PRカード(都立用) 以上2点を担任に期日までに提出

※推薦書と調査書を学校で作成し、中学校より高校に送付します。

5 出願手続き

(1) ①推薦希望を担任に伝え、「推薦願」を受け取る。

②「推薦願」を指定された期日(原則教育相談の翌日)までに、担任に提出する。

③中学校長が校内の厳正な審査を参考に被推薦者を決定し、推薦書等を作成する。

6 選 考 ※集団討論は、必要と判断した都立高校において実施される。

(1) 面接・実技検査等

① 一般推薦では、原則として志願者全員に個人面接を実施する。

各高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、個人面接を行う。

② 小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうちから、当該都立高校長が定めたいずれか一つ以上の検査を実施する。

(2) 実施日時

実技検査、面接等は令和8年1月26日(月)・27日(火)に行う。実施時間と場所は受検票によって指定される。(一般推薦は原則1日で実施)

(3) 選考の方法

① 各都立高校があらかじめ定めた選考方法に基づき、調査書、個人面接、集団討論、小論文又は作文等の検査を総合した成績、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料(自己PRカードを含む)により行う。

*自己PRカードは点数化しない。面接の資料として、活用される。

② 調査書における各教科の観点別学習状況の評価(全27観点・ABC) または評定(9教科)のどちらか一つを調査書点として点数化する。

*エンカレッジスクールは、観点別学習状況の評価を用いる。

(4) 合格者の決定方法

当該都立高校があらかじめ定めた選考方法により、総合成績順により決定する。

合格者となった者は辞退できず、学力検査に基づく選抜(一般入試)に出願できない。

7 合格発表

- (1) 日 時 令和8年2月2日(月) 午前8時30分(インターネット上の合否照会サイト)
午前9時30分(校内掲示)
- (2) 場 所 願書提出校
- (3) 発表方法 合格者は受検番号順に、受検番号により掲示する。
- (4) 通知書交付 合格者には合格通知書を交付する。
- ※入学手続期間 2月2日(月) 午前9時30分～午後3時30分
2月3日(火) 午前9時～正午まで

8 入学手続(入学確約書の提出)

- ・合格者は、入学手続期間内に**入学確約書**を高校に提出しなければならない。
手続き時に入学確約書を提出しない場合は、合格を放棄したとみなされる。
 - ・その後、納付期限内(合格発表の翌日から5日以内)に入学料(全日制 5,650 円・産業技術高等専門学校 42,300 円)を納付書裏面記載の納付場所で納付しなければならない。
- 都立高校が必要とするその他の書類は、入学確約書を提出したときに交付されるので、必ず、当該都立高校長が定める期間内に提出のこと。

●特別推薦

【文化・スポーツ等特別推薦】

各都立高校の個性化や特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。推薦選抜の対象人員内で募集人員枠を設け、文化・スポーツ等特別推薦書、活動の実績等を証明する書類、個人面接又は、集団面接及び実技検査の他、小論文又は作文、その他学校が設定する検査を適宜組み合わせ、選考を行う。

○普通科

- 区部: 向丘、上野、本所、城東、東、深川、大崎、八潮、目黒、大森、雪谷、桜町、千歳丘、広尾、鷺宮、豊多摩、武蔵丘、杉並、豊島、文京、板橋、大山、高島、石神井、練馬、光丘、足立、足立新田、足立西、淵江、葛飾野、南葛飾、江戸川、葛西南、小岩、篠崎、紅葉川
- 市部: 片倉、八王子北、富士森、松が谷、府中、府中西、府中東、拝島、小川、山崎、小平西、小平南、日野、東村山西、福生、狛江、東大和、東大和南、清瀬、久留米西、武蔵村山、羽村、田無、保谷、永山(令和8年度から実施)

○普通科(コース制) 深川

○普通科(エンカレッジスクール) 東村山

○普通科(単位制) 墨田川、美原、飛鳥、板橋有徳、大泉桜、上水、深沢

○専門学科 墨田工科、総合工科、杉並工科、荒川工科、府中工科、多摩工科、田無工科、芝商業、第四商業、八王子桑志、千早(多摩科学技術は令和8年度から実施しない。)

○総合学科 晴海総合、つばさ総合、世田谷総合、杉並総合、王子総合(令和8年度から実施)、葛飾総合、青梅総合、町田総合、東久留米総合、若葉総合

【理数等特別推薦】

科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探求の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。選考に当たっては、個人面接、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問及び小論文の検査を組み合わせ、選考資料として用いる。

○理数等特別推薦 立川高校(創造理数科)、科学技術高校(創造理数科)

(1) 対象生徒及び募集人員

「東京都立高等学校募集案内」特別推薦実施校の種目、人数、基準等を参照のこと。

(2) 出願方法・出願手続き・合格発表・入学手続きは一般推薦と同様。

なお、文化・スポーツ等特別推薦の出願の際に、志願者の活動の実績等を証明する書類等の写しの提出は不要とする。

一般推薦と文化・スポーツ特別推薦を同時に志願することもできる。(ただし、理数等特別推薦は一般推薦など他の推薦に基づく選抜に出願することはできない。)一般推薦を同時に志願する者は、特別推薦の内容と併せて出願サイトに入力する。ただし、考査料は別々に必要。その際は、領収証書2枚を入学願書の裏に貼り付ける。※サイトの指示に従う。

2 学力検査に基づく選抜(第一次募集)

1 応募資格

○次の(1)~(5)までのいずれかに該当し、高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者

- (1) 令和8年3月に中学校を卒業する見込みの者
- (2) 中学校を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号。以下「施行規則」という。)第95条に規定する次のアからオまでのいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における9年の課程を修了したもの
 - ② 文部科学大臣が中学生の課程と同等を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 文部科学大臣の指定した者
 - ④ 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則(昭和41年文部省令第36号)により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
 - ⑤ その他高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (4) 日本国内において、外国人学校の教育により、日本の9年の義務教育相当の教育を受けた外国籍を有する者又は令和8年3月31日までに修了する見込みの外国籍を有する者
- (5) 令和8年3月31日までに、施行規則第95条第1号に規定する外国において学校教育における9年の課程(以下「現地校」という。)を修了する見込みの者又は同条第2号に規定する文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設(以下「日本人学校」という。)の当該課程を修了する見込みの者

【全日制を志願する者】

全日制の場合は、保護者と一緒に都内に在住し、入学後も都内から通学することが確実な者。(志願者と保護者がやむを得ず別居中でも、具申書を提出して応募することができる。)

【定時制を志願する者】

定時制の場合は、都内に住所か勤務先を有する者、又は、入学日までに都内に住所か勤務先を有することが確実で、入学後もそこに住所又は勤務先を有する者。

(都立推薦入試の合格者は、たとえ入学を放棄したとしても、学力検査に基づく選抜は受検できない。)

2 募集人員 10月下旬に発表予定

3 出願方法等

(1) 出願方法

○都立高校のインターネット上の出願サイト(各個人で対応)

○志願者は、1校1コース又は1科(分野)に限り出願することができる。ただし、志望する同一の都立高校内に2科(2分野)以上ある場合は、他のすべての科(分野)に志望順位を付けて出願することができる。未記入の場合は、志望しないことになる。

○入力期間 令和7年12月19日(金)から令和8年2月5日(木)午後5時まで

※中学校で事務処理がある関係で、校内締め切りを令和8年2月2日(月)までとします。特に推薦不合格者は合格発表日から日数が少ないので注意してください。

(2) 願書作成の流れ

① 出願サイトでID取得 ② 顔写真登録 ③ 必要事項(住所氏名など)を入力

④ 中学校に報告 ⑤ 中学校が承認(承認後、入学考査料を納入する) ⑥ 各自で受検票を印刷

○入学考査料

ア 全日制は2,200円。

イ 産業技術高等専門学校は、12,600円。

ウ 定時制課程950円。

※インターネット上で電子決済するか、所定の納付書により、東京都内の金融機関の窓口で納入し、領収証書を指定の方法で添付する。

(3) 必要書類 中学校から各都立高校へ書類を郵送。(各個人で郵送するものではありません。)

○自己PRカード(指定期日までに担任に提出) ※面接実施校のみ

※調査書などを学校で作成し、中学校より高校に送付します。

4 出願手続き

(1) 必要な書類

- 入学願書 都立高校出願サイトで入力した願書を印刷して用意する。
- 自己PRカード（面接実施校の志願者及び定時制の志願者は提出する。）
- 志願者の調査書（学校で作成し学校より送付）

(2) 志願変更

全日制の都立高校の志願者は、願書提出後1回に限り志願の変更をすることができる。ただし、定時制への志願変更はできない。なお、定時制の総合学科高校の志願者は、全日制高校及び他の定時制の総合学科高校への志願変更ができる。

別表3-1（第一次募集・分割前期募集）

再提出 取下げ		全日制	定 時 制		
			定 時 制 単 位 制		定時制単位制以外
			チャレンジスクール (注1)、 八王子拓真高校 (チャレンジ枠) 及びグループA (注2)	グ ル ー プ B (注 3)	
全 日 制		○	×	×	×
定 時 制	チャレンジスクール(注1)、 八王子拓真高校(チャレンジ枠) 及びグループA(注2)	○	○	×	×
	グ ル ー プ B (注 3)	×	×	×	×
	定時制単位制以外	×	×	×	×

(注1) チャレンジスクールとは、六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校及び立川緑高校をいう。

(注2) グループAとは、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校をいう。

(注3) グループBとは、新宿山吹高校、六郷工科高校、飛鳥高校、板橋有徳高校、青梅総合高校及び東久留米総合高校をいう。

《志願変更ができない場合》

(例1) 園芸高校の農業に関する学科の動物科を第1志望として出願後取り下げ、同じ園芸高校の農業に関する学科の食品科を第1志望として再提出することはできない。

（同一校同一科への再提出はできない。志望の順位の変更はできない。）

(例2) エンカレッジスクールの蒲田高校に出願後取り下げ、チャレンジスクールの六本木高校に再提出することはできない。

（全日制課程からチャレンジスクールへの志願変更はできない。その逆は可能。）

○願書の取り下げ日時 令和8年2月12日(木) 午前9時～午後3時

○願書の再提出日時 令和8年2月13日(金) 午前9時～正午

5 学力検査等の実施

(1) 検査教科等

検査教科等の実施内容については、各都立高校が定める。ただし、芸術及び体育に関する学科については、国語・数学・外国語の3教科とする。各教科の満点は100点とし、特定の教科に比重をかける（傾斜配点）都立高校もある。なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校は、学力検査を実施しない。定時制は、国語・数学・外国語・社会・理科の5教科のうち、3教科を下らない範囲で各都立高校が定める。また、面接を実施する。

(2) 学力検査日と教科・時間割

令和8年2月21日(土)

	開始時刻～終了時刻	時間	実施教科
集 合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分～午前 9時50分	50分	国 語
第2時限	午前10時10分～午前11時00分	50分	数 学
第3時限	午前11時20分～午後 0時10分	50分	英 語
第4時限	午後 1時10分～午後 2時00分	50分	社 会
第5時限	午後 2時20分～午後 3時10分	50分	理 科

(注)英語学力検査
最初の約10分間に
リスニングテストを実施。

*ただし、国際高校及びエンカレッジスクールとして指定された都立高校の時間割は、各都立高校が定める。

6 選 考

(1) 選考

調査書・学力検査（面接、小論文又は作文、実技検査を実施する都立高校はそれらを含む）・スピーキングテスト結果を総合した成績（総合成績）、入学願書による志望及び、都立高校長が必要とする資料により行う。***面接を行う学校においては、自己PRカードを面接資料として活用する。**ただし、自己PRカードは点数化しない。

(2) 総合成績

① 総合得点（学力検査の得点+スピーキングテスト結果+調査書点で1020点満点とする）

学力検査の得点（学力検査を実施した教科の合計点。ただし、傾斜配点を行う教科については、傾斜配点を行った得点）と、調査書点（調査書の学習の記録を点数化したもの）の比率。

学力検査の得点と調査書点の比率は、7:3とする。

芸術及び体育に関する学科は、6:4、定時制は、7:3又は6:4とする。

令和8年度では新たな受入の環境充実校として深沢高等学校の入学選抜では、学力検査の得点と調査書点の比率について7:3と10:0の両方の方法で算出し、どちらか高い方を本人の得点として選抜する新たな選抜方法を導入する。

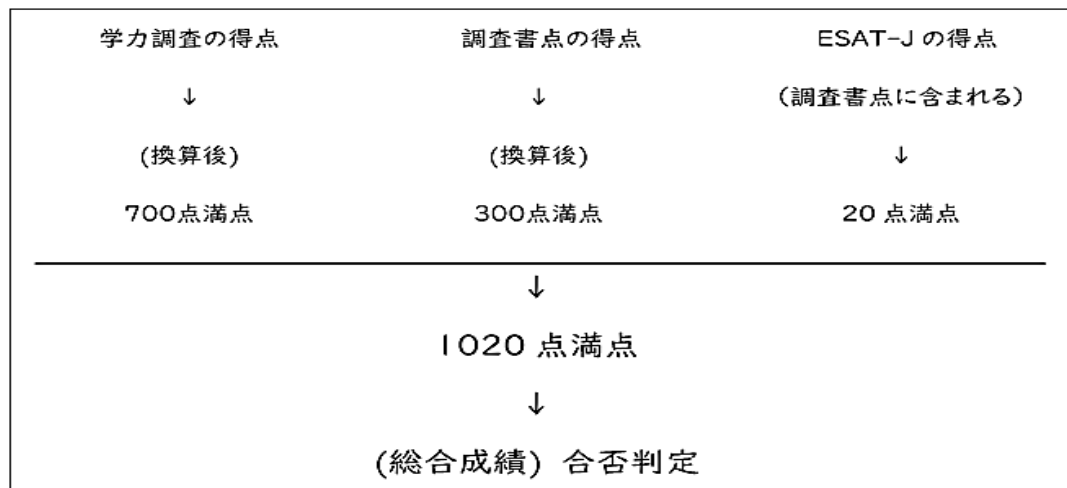
② 面接点（面接の結果を点数化したもの。）

③ 小論文点・作文点（小論文・作文の結果を点数化したもの。）

④ 実技検査点(実技検査の結果を点数化したもの。)

*エンカレッジスクールとして指定された都立高校は、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出する。

<例>5教科・傾斜配点なし・学力検査:調査書=7:3 の場合



東京中学校英語スピーキングテスト結果の活用について

テストの結果で「A」から「F」の6段階で提出された評価を、調査書点(300点満点)に20点満点の点数として取り扱い、320点満点で調査書を算出し、総合得点を1020点満点で算出します。

(3) 特色のある選考方法

○分割募集:一般選抜の募集人員を分割し2回に分けて募集を行うこと。

令和7年度までは全日制と定時制の両方で分割募集を行う高校があったが、令和8年度より全日制高校の分割募集は廃止され、定時制課程の高校(昼夜間定時制高校)のみ分割募集を実施することとなった。

【定時制実施校】

○普通科 一橋、浅草、荻窪、八王子拓真(一般枠)、砂川

○全日制一次学力検査問題の自校作成をする高校

【自校作成】

第一次募集において、自校で作成した学力検査問題3教科(国語・数学・英語)と、都立高校共通問題2教科(社会・理科)により実施する。

○普通科: 日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立

○普通科(単位制): 新宿、墨田川、国分寺

*国際高校では、自校で作成した学力検査問題1教科(英語)と、都立高校共通問題 4教科(国語、数学、社会、理科)により実施する。

○定時制一次学力検査問題の自校作成をする高校

第一次募集・分割前期募集において、自校で作成した学力検査問題3教科(国語、数学、英語)により実施する。

【実施校】

○普通科： 八王子拓真(一般枠)

○専門学科： 農産

○学力検査を実施せず、面接・小論文又は作文及び実技検査を実施する高校(エンカレッジスクール)

【全日制】

第一次募集及び第二次募集で学力検査を実施せず、面接、小論文又は作文及び実技検査を実施する。

【実施校】

○普通科： 蒲田、足立東、東村山、秋留台

→蒲田、足立東、秋留台は実技検査を実施しない。

○専門学科： 中野工科、練馬工科

○学力検査を実施せず、面接及び作文を実施する高校(チャレンジスクール及びチャレンジ枠)

【定時制】

学力検査を実施せず、面接及び作文を実施する。なお、自己PRカードに代えて学校所定の志願申告書を提出する。調査書の提出は必要ない。

【実施校】

○普通科 八王子拓真(チャレンジ枠)

○総合学科 六本木、大江戸、世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋、立川緑

○通信制課程における選抜

これまで4月上旬に行ってきた通信制課程の入学者選抜を、令和8年度から前期選抜と後期選抜の2回に分けて実施する。前期選抜は、第一次募集と同じ時期の2月22日に実施する。後期選抜は、これまでと同様に4月上旬に実施する。

【出願】 (入力期間) 令和7年12月19日(金)～令和8年2月5日(木)午後5時まで

(書類提出期間) 令和8年1月30日(金)～令和8年2月5日(木)まで(必着)

【検査日】 令和8年2月22日(日) (新宿山吹・砂川) 集合 午前8時30分

(一橋) 集合 午前9時

※合格発表や入学手続は全日制の第一次募集と同じ日程で行われる。

(4) マークシート方式の全面実施

共通問題で学力検査を実施する**全ての都立高校**において、マークシート方式を導入。

※一部の教科を独自問題(自校作成、グループ作成)で実施する都立高校は、共通問題で実施する教科のみ、マークシート方式になる。ただし、マークシート方式ではない学力検査問題では、選択した記号や解答などを解答欄に記述することになります。

(5) 合格候補者の決定

合格候補者数については、入学手続者数が募集人員に対して過不足のないよう、適切に決定する。

○普通科の都立高校(コースを置く都立高校のコースを除く)及び総合学科の都立高校

・当該都立高校の募集人員を総合成績の順により決定し、これをその都立高校の合格候補者とする。

○普通科コースを置く都立高校

・当該都立高校の募集人員を総合成績の順により決定し、これをそのコースの合格候補者とする。

○専門学科(芸術に関する学科を除く)及び定時制の都立高校

① 当該都立高校の募集人員を総合成績の順により決定する。

② 学科内に2科(2分野)以上ある場合には、上記①の人員のうちから、以下のように合格候補者を決定する。

ア 科(分野)ごとに、その科(分野)を第1志望とした者のうちから、総合成績の順に合格候補者を決定する。

イ 第1志望で募集人員に達しない科(分野)は、その不足人員を上記①の人員のうちから志望の順位に基づき、総合成績の順に充足する。

○全日制普通科単位制及び総合学科の都立高校

・当該都立高校の募集人員(推薦に基づく選抜の入学手続者数を除く。)を総合成績の順により決定し、これをその都立高校の合格候補者とする。

(6) インフルエンザ等学校感染症罹患者に対する追検査

・第一次募集において、インフルエンザ等(新型コロナウイルス感染症はこれに含む。)の学校感染症に罹患するなどし、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者に対して、志願した都立高校の受検機会を確保するため、追検査を実施する。

〈対象校〉 第一次募集実施校(分割募集実施校においては、追検査を実施しない。)

〈実施日程〉 分割後期募集・全日制第二次募集と同日程で実施

〈応募資格等〉

○ 第一次募集の検査日当日に、インフルエンザ等に罹患した者又は出席停止中の者で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者(1教科でも受検した者は除く。)のうち、追検査の措置を申請し、当該都立高校長から承認を得た者。

※申請書提出 2月25日(水)午後5時まで

〈出願方法・出願手続き〉

- 志願者は1校1コース又は1科(1分野)に1科(1分野)に限り出願する。
- 志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合(芸術に関する学科を除く。)は、他の全ての科(分野)に志望の順位を付けて出願することができる。
- 追検査に出願した者は、分割後期募集・全日制第二次募集に出願することはできない。
- 追検査に出願した者は、志願変更をすることができない。
- 第一次募集の検査当日に罹患者等になった者で追検査を希望する者は、所定の入学願書のほか、医療機関の証明書、中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類又は発熱があったことについて中学校長が証明する書類のいずれか一通を提出する。

〈学力検査等の実施〉

- 国語、数学、英語の3教科(共通問題)及び学力検査以外の検査(面接等各都立高校が別に定めた方法で実施)
- 学力検査会場は、各都立高校とする。
- 学力検査以外の検査会場は、各都立高校が受検票により指定する。

7 合格発表

- | | | | |
|---------|------------------|---------|--------------|
| (1) 日 時 | 令和8年3月2日(月)(全日制) | 午前8時30分 | (合否照会サイト) |
| | | 午前9時30分 | (願書提出校で校内掲示) |
| | (定時制) | 午前8時30分 | (合否照会サイト) |
| | | 午後4時 | (願書提出校で校内掲示) |

- (2) 発表方法 合格者は受検番号順に、受検番号により掲示する。

- (3) 合格通知書の入学手続 ※合格者には、合格通知書を交付する。

令和8年3月2日(月)(全日制) 午前9時30分～午後3時30分

(定時制) 午後4時 ~午後8時

令和8年3月3日(火)(全日制) 午前9時 ~正午

(定時制) 午後4時 ~午後8時

8 入学手続き(入学確約書の提出)

- ・合格者は、入学手続き期間内に入学確約書を提出し、所定の納付書により、納付期間内(合格発表の翌日から起算して金融機関等の5営業日以内)に入学料(全日制 5,650 円、定時制 2,100 円)を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければならない。*入学手続き期間内に入学確約書を提出しなければ、合格を棄権したものとみなされる。また、入学料の納付がない場合は、入学確約書は無効となる。都立高校が必要とするその他の書類は、入学確約書を提出したときに交付されるので、必ず、当該都立高校長が定める期間内に提出のこと。※合格者として決定した後に、コース及び科を変更することはできない。

○学力検査等得点の本人への開示

受検者又は保護者から開示請求があった場合に、都立高校だけでなく中学校においても交付してきた当該受検者の学力検査等得点表については、個人情報保護をより徹底する観点から、学力検査における答案の開示と同様に、都立高校が受検者又は保護者に対して直接交付することとする。

○本人得点の開示及び学力検査における答案の開示の実施時期

学力検査等得点表及び学力検査における答案の開示については、受検者や保護者の請求に基づき、高等学校が個別に直接開示する仕組みとしているが、不合格者への開示を優先的に行う。開示請求受付期間を以下のとおりとする。

〈不合格者〉

受付開始日: 推薦・第一次募集・分割前期は3月4日(水) / 第二次募集・分割後期は3月13日(金)

受付終了日: 令和8年8月31日(月)

〈合格者〉

受付開始日: 令和8年5月1日(金)

受付終了日: 令和8年8月31日(月)

* 中学校への検査結果送付に係る同意書名欄(願書の裏面にあります)

中学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高校から中学校へ検査結果を提供することに同意する場合は、志願者本人が自著し、出願する。

個人情報の提供に関する同意署名欄 (任意)

私は、東京都立高等学校入学者選抜(推薦に基づく選抜)における検査結果の全て【(1) 受検番号(2) 氏名(3) 在籍学校名(4) 個人面接等の得点(5) 小論文・作文の得点(6) 実技検査の得点(7) 学校設定検査の得点】を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高等学校から在籍する学校へ提供することに同意します。

令和 年 月 日 (署名)

(注意) ※ 上記の内容に同意する場合のみ、志願者本人が自署してください。

※ 在籍する学校に提供された入学者選抜における検査結果は、個人情報としてその秘密を厳守し、進路指導や学習指導以外の目的には一切使用いたしません。

※インターネット出願時は、サイトの指示に従ってください。

東京都立国際高等学校国際バカロレアコース

○4月入学生徒の選抜 ※

*出願 (入力期間) 令和7年12月19日(金)～令和8年1月16日(金)午後5時まで
(書類提出期間) 令和8年1月9日(金)～令和8年1月16日(金)まで(必着)

*令和8年度よりインターネットを活用した出願を導入する。

検査 令和8年1月26日(月)集合 午前8時30分
1月27日(火)集合 午前8時30分

合格発表 令和8年2月2日(月) 午前8時30分(インターネット上の合否照会サイト)
午前9時30分(校内掲示)

※入学手続期間 2月2日(月) 午前9時30分～午後3時30分
2月3日(火) 午前9時～正午まで

*募集要項は、都立国際高校で配布する。

・検査内容:英語運用能力検査・数学的能力検査・小論文・個人面接

*数学的能力検査、小論文、個人面接については、英語又は日本語で行う。

東京都立産業技術高等専門学校

推薦に基づく選抜

出願 ・入力期間 令和7年12月20日(土)～令和8年1月16日(金)
・書類提出期間 令和8年1月9日(金)～16日(金)

検査(小論文・面接) 令和8年1月27日(火)

合格発表 令和8年2月2日(土) 午前8時30分 ※合否紹介サイトで発表

※入学手続締切 令和8年2月3日(水) 正午まで

学力検査に基づく選抜

出願 ・入力期間 令和7年12月19日(金)～令和8年2月5日(木)
・書類提出期間 令和8年1月30日(金)～令和8年2月5日(木)

学力検査(国・数・英) 令和8年2月13日(金)

合格発表 令和8年2月19日(木) 午前8時30分 ※合否紹介サイトで発表

- ・募集要項は、各自、高専ウェブサイト又は直接高校に請求する。(11月下旬配布予定)
- ・1年次は、高専品川キャンパスと高専荒川キャンパスのどちらかを志望する。
- ・自己PRカードは、提出不要。
- ・入学手続期間内に入学確約書、納入期間内に入学料42,300円を納入する。
- ・推薦は都内在住のみ、一般は応募資格を満たせば都外からも可。

私立高等学校

- 1 都内在住など制限がなく、通学に無理のない距離で都内近県広範囲の学校が選べる。
- 2 募集定員・出願の方法・出願の手続き・試験日（都内の一般受験は2月10日頃から）・試験内容等は学校ごとに提示される。志望校についてしっかりと確認しておこう。
- 3 私立高校の特色、教育方針、その他、あらゆる角度から研究し、自分にあった学校を選ぶようにしよう。（大学付属校の大学への進学システムをよく確認するなど…）
- 4 受験料は2～3万円程度。初年度納入金は、前年度平均80～100万円程度必要となる。（この他に、制服・教科書代などの費用がかかる。）
また、都立との併願者のために納入金の延納制度をとっている学校が多い。ただし、手続きの仕方が学校によって違うので注意すること。
- 5 受験の仕方には、推薦制度（単願）、併願優遇などを利用した受験と一般受験がある。
- 6 試験日を複数設けている学校もある。

《推薦入試》

中学校から推薦されて受験する入試。合格すれば必ずその高校に入学すること。

- ① 出願基準があり、募集要項に明記されている。
- ② 推薦入試は一般受験より約1か月早く、推薦入試で不合格となっても、再度一般受験できる。
- ③ 中学校長の推薦書と調査書・作文・面接・実技等で選抜する。最近は、基礎学力の有無を確認する適性検査を実施する高校も多い。
- ④ 日程や募集人員・方法等については、入試要項に明記されている。
- ⑤ 推薦基準は、その学校を志望する者で、生活態度が良好で、その他学習の記録や出席状況等各学校で定める基準による。推薦基準を満たしていなければ出願することができない。（学校によって9科合計、5科合計、3科合計の場合がある。また遅刻・早退・欠席数も推薦基準を定めている場合もある。）
- ⑥ 東京・神奈川・千葉は12月15日以降に入試相談がある。
※入試相談とは、私立高校担当者に中学校の教員が、希望する生徒の推薦や一般入試の合格の可能性等について相談するもの。12月の三者面談には志望校の確定をしておくことが必要となる。
- ⑦ ⑥の相談は、中学校3年間の学習の記録や特別活動の記録、欠席日数、資格等を資料として行う。
- ⑧ 高校によっては、学校説明会・体験入学の参加によって、推薦入試での優遇措置を考慮するケースもある。希望者は、早めに学校説明会等に必ず参加してください。

*推薦入試を希望する場合

- ① 各校の基準と照らし合わせ、出願資格が満たされていることを確認できた場合、12月の教育相談で「推薦願」を受け取る。
- ② 「推薦願」・各校の必要書類を指定された期日までに、担任に提出する。
- ③ 中学校長が推薦委員会を経て推薦者を決定し、推薦書等を作成し交付する。

《併願優遇入試》

都立高校（一部私立高校も可としている）を第一志望として、第一志望が不合格だった場合、進学を約束することで、合否の判定について優遇を受けることができる。

- ① 出願基準があり、募集要項に明記されている。

私立の推薦入試と同じように各私立高校が定める併願優遇の基準を満たしていなければ出願することができない。（学校によって9科合計、5科合計、3科合計の場合がある。また遅刻・早退・欠席数も推薦基準を定めている場合もある。）

- ⑥ 推薦入試と同じように東京・神奈川・千葉は12月15日以降に入試相談で中学校の教員が私立高校担当者に併願優遇の希望者を確認するため、12月の三者面談までに志望校を確定させる必要がある。
- ② 3教科（国・数・英）の学力検査と個人面接を実施する学校がほとんどである。
- ③ 合計点が低い場合や1科目が極端に低い得点である場合には、不合格になるケースもある。
- ④ 入試得点に、面接・調査書（内申）の要素を加算し、合否が決定される。
- ⑤ 手続きの際の納入金は、第一志望の発表（多くは都立高校の一次・前期の発表）まで延納できる。延納の手続きは学校によって異なるので募集要項で確認する。

*併願優遇を希望する場合

- ① 併願優遇の志願先である私立高校に個別相談に行き、併願優遇の基準に達しているかを確認をする。
- ② 各校の基準と照らし合わせ、出願資格が満たされていることを確認できた場合、12月の教育相談で「併願優遇確認書」を受け取る。
- ③ 「併願優遇確認書」・各校の必要書類を指定された期日までに、担任に提出する。

《一般入試》・・・推薦書・出願基準がない入試

- ① 3教科（国・数・英）の学力検査と個人面接を実施する学校がほとんどである。
- ② 一般入試の合格者決定の最も大きな要素は、入学試験の得点である。ただし、3科の合計点が高くても、1科目が極端に低い得点であると不合格になるケースもある。
- ③ 入試得点に、面接・調査書（内申）の要素を加算し、合否が決定される。
- この他にも、《第一志望優遇》や中学校からの推薦書のいらない《自己推薦》など、高校によっていろいろな制度を取り入れている。

※併願優遇制度を採用している私立高校では「一般入試」合格ラインが変位する場合がある。入試受験者数の中で優遇制度を利用しないと合格が難しくなる場合がある。どの方法で受験する場合でも、担任の先生に報告し、必ず相談してください。

令和7年度 文京区立音羽中学校
第3学年入学選抜考査における推薦についての確認事項

推薦入試を希望する場合は、以下の条件を満たすことが必要です

1 高校から示される推薦基準を満たしていること

都立高校: 「期待される生徒の姿」を参考にする

私立高校: 成績の基準、欠席・遅刻の数、人物評価など

2 推薦は第一志望の学校であること

- 合格した場合は必ず入学すること
- 合格した場合は他校の受験は控えること

3 併願優遇は、原則第二志望の学校であること(※各校の基準に準ずる)

4 本校の生徒として誇れる生徒であり、学校推薦者にふさわしい下の(1)～(3)の条件を満たしていることを、中学校長が校内の推薦委員会を経て決定します。

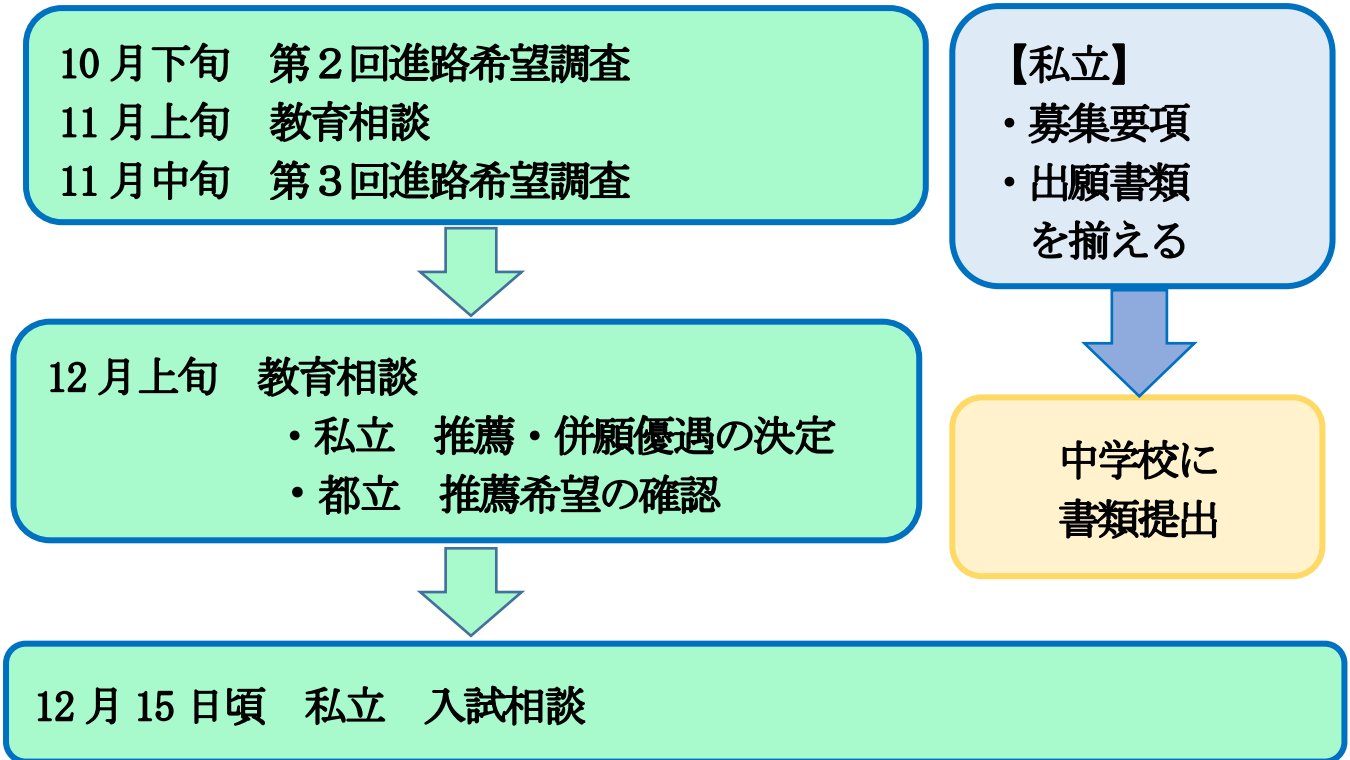
(1) 生活上のこと(服装・頭髪・持ち物・生活時間等)で注意を受けることなく、きまりを守り、集団生活を意識した行動ができる。

(2) 真剣に授業を受け、家庭学習を計画的に行い、学力の向上に取り組むことができる。

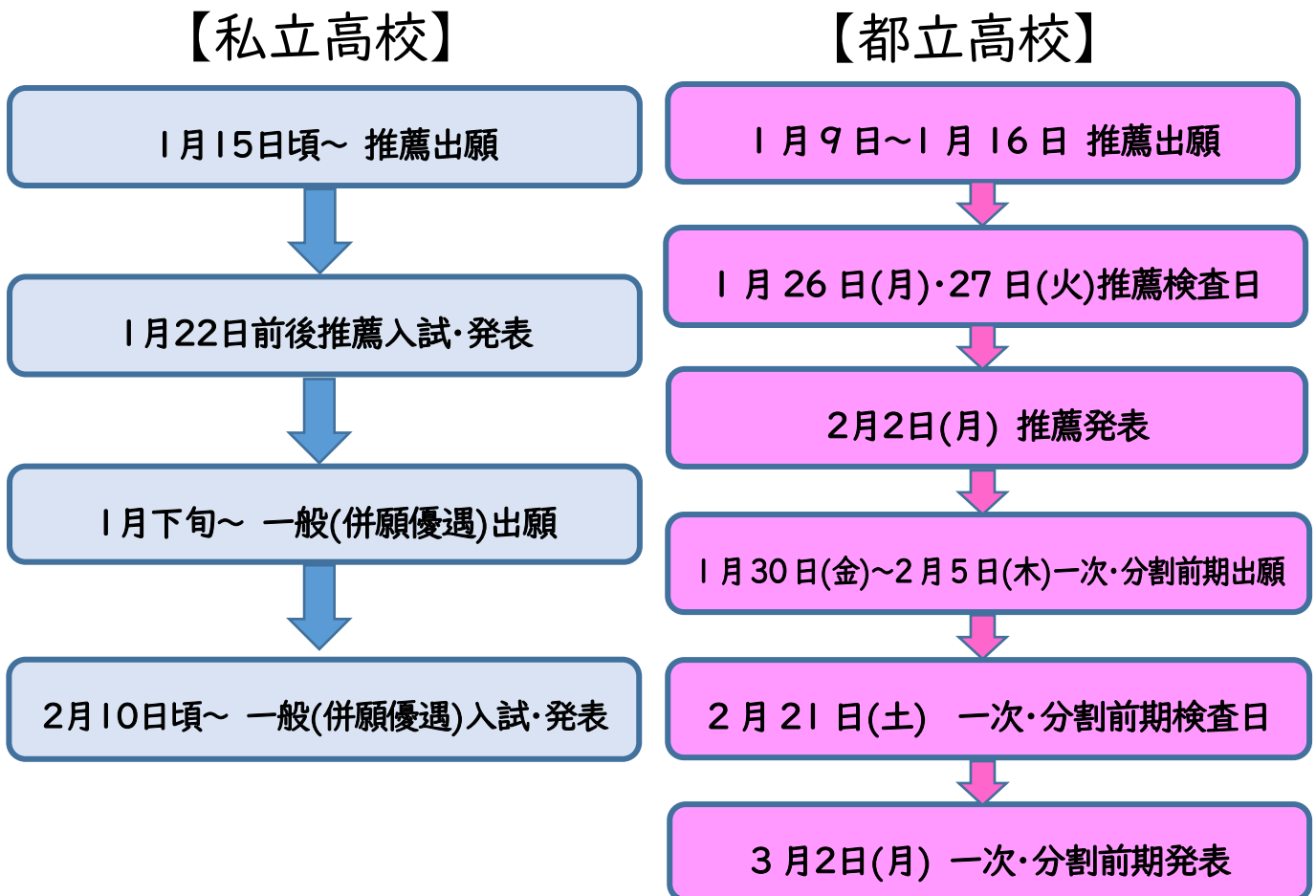
(3) 進路が決定した場合は、進路を決定していない人への思いやりの心を持ち、学校生活を送ることができる。



今後の予定(～12月)



今後の予定(1月～)



【今後の過ごし方について】

(1) 志望校の決定

12月には、最後の教育相談がおこなわれます。遅くともそのときまでには、志望校を決定しなければなりません。そして、その際には、志望校を決定するだけでなく、受験のしかたについても決めなければなりません。例えば、都立高校の場合、推薦入試と一般入試の両方を受検(都立高校は受検という漢字を使用します)するのか、併願優遇で私立の学校を受験するのかなど、私立高校の場合、単願推薦で受験するのか、一般入試で何校か受験するのかなど、どのように入試に臨むのかという受験の方法についてもきちんと決めておかなければならないのです。そのためには、高校訪問をできる限り行い、正確な情報のもとに自分の受験プランを決定できるようにしておきましょう。

(2) 模試(模擬試験)について

中学校では「領域診断テスト」を3回実施しますが、それとは別に自分自身の実力を計る意味でも、可能な限り、模試を受けておくとい良いでしょう。模試には、①本番に慣れる ②現時点での自分の実力を知る ③入試問題の傾向を捉える、という3つの目的があります。

「事前学習→模試を受ける→できなかった問題を解き直す→できなかった分野の復習」のサイクルを繰り返すだけで、普段の学習以上の効果があり、自分の弱点克服に大変役立ちます。

(3) 高校生活に向けて

受験が近づいてくると、どうしても合格することが目的になりがちです。しかし、合格を最終目標にすると、燃え尽き症候群に陥り、入学後に高校の授業等に意欲がもてなくなる場合があります。合格判定や一回のテストに一喜一憂することなく、自分がその学校になぜ入学したいのか、入学後にどんなことをしたいのかを常に考えながら、入試に臨みましょう。高校入試は、入学後に求められている学力が明確です。その要求されている学力を身につけることが、最低限の入学条件だと思ってください。そして、大切なことは、合格した学校に入学した後、あなた自身が心から充実した高校生活を送り、自分自身を今以上に成長させていくことが何より大切であるということを忘れないでください。

(4) 健康的な生活を送ることの大切さ

健康な生活を送るための3原則は、「睡眠」「食事」「運動」です。健康によいことは、学習にもよい結果をもたらします。授業中の集中力を高め、学習したことをしっかり理解吸収するためには、まず、それができる状態に体調を管理することが必要です。

【各種書類について】

① 調査書作成願・受験スケジュール表 ②各種届け出

令和 年 月 日

見本

推 薦 願 (単 願)

文京区立音羽中学校
校長 齊藤 正富宛

3 年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

- 1 下記第一志望校を受験するに当たり、学校長の推薦を希望します。
- 2 推薦認定後は必ず受験し、合格後は必ず進学します。
- 3 合格後は、卒業まで学校推薦にふさわしい生活態度、学習態度で学校生活を送ることを約束します。

以上の事項を確認の上、下記の学校への推薦受験を希望します。

記

推薦希望校 (正式名称)	希望クラス・コース等	受験日	受験科目
		月 日	国・数・英 他()

学科・コースがある場合は必ず記入してください。

志望理由 (本人が記入)

令和 年 月 日

併願優遇確認書

文京区立音羽中学校
校長 齊藤 正富宛

3年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

- 1 受験校の併願優遇の条件に従って申し込み、出願、受験します。
- 2 当日の試験の結果により、不合格になる場合があることを了承します。

以上の事項を確認の上、下記の学校への併願優遇受験を希望します。

記

併願優遇希望校			
学校名（正式名称）	希望クラス・コース等	受験日	受験科目
		月 日	国・数・英 他（ ）

令和 年 月 日

見本

推薦願（都立）

文京区立音羽中学校
校長 齊藤 正富宛

3年 組 番 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____

- 1 下記第一志望校を受検するにあたり、学校長の推薦を希望します。
- 2 推薦認定後は必ず受検し、合格後は必ず進学します。
- 3 合格後は、卒業まで学校推薦にふさわしい生活態度、学習態度で学校生活を送ることを約束します。

以上の事項を確認の上、下記の学校への推薦受検を希望します。

記

推薦希望校	(一般推薦 ・ 特別推薦)
東京都立	コース 高等学校 科 (分野) 部

学科・コースがある場合は必ず記入してください。

志望理由（本人が記入）

【自己PRカード】

(様式12) (A4判)

受検番号	※	コース・科(分野)・部	受検番号	※	コース・科(分野)・部
文化・スポーツ等 特別推薦	※		一般推薦	※	
理数等 特別推薦	※		一般選抜	※	

自己PRカード

東京都立_____高等学校長 殿

_____立_____中学校

氏名 _____

年 月 日

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来になりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- (注意) 1 志願者が黒のペン又はボールペンで記入する。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないこと。
 なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
 2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面談の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。
 3 ※欄は記入しないでください。

Q & A

Q1 私立の推薦を受けたいと思っているのですが…

A1 まずは、希望する学校に行き、推薦基準を確認しましょう。希望する学校の先生と個別相談を行い、受験資格等の相談をしましょう。個別相談は11月中に終わっておきましょう。

Q2 併願優遇とはなんですか？

A2 「私立高校が定める基準」に達している生徒を高校側が一般入試時に優遇してくれる制度です。志望する高校（主に第一志望である公立高校）が不合格になった場合に入学することを条件に、各私立高校が定めた基準を満たした生徒が一般入試において優遇措置を受けることができます。多くの場合都立高校を第一志望とする場合ですが、私立高校を第一志望とする場合も認めている学校もあります。各学校にご確認ください。また、推薦同様、個別相談や学校説明会への参加等が必要であると考えてください。

Q3 都立高校の推薦で、出願後の変更は可能ですか？

A3 出願後変更はできません。

Q4 都立高校の受検で、推薦で希望する学校と一般入試で希望する学校は同じでないといけないのでしょうか？

A4 異なる学校でかまいません。

Q5 私立高校の募集要項・必要書類等は、どのようにそろえればよいのですか？

A5 各ご家庭で、Web申し込みするか、説明会等に行ったときに入手する等してください。

Q6 受験票に必要な写真はどうすれば良いですか？

A6 校内で業者による受験写真の撮影を予定しており、希望者は申し込むことができます。個人で写真館等を利用して撮影してもかまいません。制服、頭髪などを確認しておきましょう。

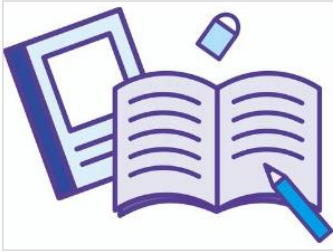
Q7 私立でWEB出願とありました。我が家ではWEB環境がないのですが…

A7 各学校にお問い合わせをお願いします。中学校からのWeb出願はできません。

Q8 出願には誰が行くのですか？

A8 Web出願出願の場合は、高校の窓口に行く必要はありませんが、窓口での出願の場合、原則、生徒本人が出願に行きます。

*今後、出される質問・皆さんにご確認頂きたいことは、学年通信等でお知らせしていきます。



3年 組 番 氏名